

令和3年度 事業報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人石見銀山資料館

1 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない中、大森の町並み関連施設（重要文化財熊谷家住宅、代官所地役人旧河島家、代官所地役人宗岡家遺宅）の指定管理業務がスタートした。石見銀山資料館を含む公開3施設が一体化したことで、入館料の相互優待のほか、展示内容での連携、広報活動の一元化など効果的かつ効率的な事業運営ができた。特に体験学習については、施設面の制約によりこれまで十分な活動ができていなかったため、指定管理で熊谷家が加わったことにより多様な教育活動が行えることになったことは特筆すべき成果であったといえる。

また、簡易宿泊所である宗岡家についても、コロナ禍という状況のため本格的な稼働には至らなかったが、島根県立大学や地元企業のインターンシップなど学生の利用があつて点は大きな収穫であった。とりわけ島根県立大学については次年度から大森町をフィールドとした教育活動が行われることから、宗岡の継続的な利用が見込まれる。そのため大学側の要望等を聞きながら受け入れ態勢の一層の充実を図ってきたい。

石見銀山資料館の事業では、展示内容の全面的なリニューアルを実施した。これは観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」（事業者：石見銀山生活観光研究所）の委託を受けて行ったものである。展示では大森町内の他の公開施設との差別化を図ること、また町並みのガイド機能の充実を基本的な考え方とし、あわせて資料館の愛称を地域で親しまれている代官井戸平左衛門にちなみ「いも代官ミュージアム」として発信することとした。

石見銀山遺跡の来訪者の回復が進まない状況下、法人の経営が置かれている環境は厳しい。しかし、当法人に期待される社会的な役割や重要性は以前にも増して大きくなっており、この難局を多くの方々のご協力を得て乗り越えていきたい。

2 事業内容

事業名	事業内容	実施予定の 日時、場所、	受益対象者の範囲 及び予定人数	事業費 (単位：千円)
石見銀山資料館の 管理運営事業	入館券の販売、展示解説、遺跡のガイド	通年 石見銀山資料館	一般・小人 6,350名	6,607
大森の町並み関連 施設指定管理事業	熊谷家住宅・旧河島家 ・宗岡家の管理運営	通年 熊谷家・河島家 宗岡家	一般・小人 10,807名 72名	21,391
書籍・物品等の販売 事業 自主事業	書籍地場産品の販売 講座他体験事業	石見銀山資料館 熊谷家・河島家 通年	一般・小人 17,157名	1,755
受託事業	観光の磨上事業 町民クーポン券事業	石見銀山資料館 熊谷家・河島家	一般・小人	5,580
その他法人の目的 の達成に必要と認 められる事業	大成建設助成事業	石見銀山資料館 通年	一般・高校 50名	295